

塩原・板室温泉活性化特集

スペシャル座談会「栃木・那須塩原の魅力」

温泉、自然、グルメ…心と体を癒やして

コロナ対策に尽力、安心・安全な体制でおもてなし

知名度の高い塩原、板室の二つの温泉地を抱える栃木県那須塩原市。新型コロナウイルスの影響があったものの、積極的な宿泊キャンペーンの実施で客足は回復の兆しをみせ、「持続可能な観光モデル」で安心・安全な観光地づくりに取り組んでいる。市の観光をリードする4氏にお集まりいただき、観光魅力やコロナ対策など現状と展望を語っていただいた。司会は論議委員の内井高弘氏（関谷にある那須塩原市観光局で）

——那須塩原の観光魅力は何でしょう。
君島 見ていて飽きることのない四季折々の渓谷美と200年以上の歴史を持つ温泉。渓谷美については紅葉が始まる前から見えてくる。色鮮やかな紅葉は、こもる負けないと自負している。温泉については、源泉数は150以上あり、毎分1万リットル湧出している。10種類ある泉質のうち、実に6種類の泉質がそろう。7色の温泉が堪能できるのは、塩原だけだ。

高冷地野菜はみずみずしく、いま「塩原温泉うんまいもみろシシトコ」として、塩原高原大根キャンベンを実施している。旅館・ホテルでも提供しており、お客さまに好評だ。B級グルメとして、スープ入り焼きそばなども、地味ではないものもたくさんある。日本遺産に認定されている。那須野が原開拓に関わる明治の元勲の建物などの遺産も見逃さない。

那須塩原は牛乳生産本州一で、質の良い乳製品を提供している。黒磯はスポーツとしても盛んで、平地を生かしたサッカー場やテニスコート、野球場など運動施設が充実している。また、自治体が持つ馬場は全国でこれだけしかない。観光はもちろん、教育面でも活用されている。君島会長が触れたように紅葉は市観光の目玉ともいえるが、板室の紅葉は「11月の紅葉」で趣が異なる。

また、板室温泉は国民保養温泉地で、ウイズコロナに適した温泉地だと思える。もともと湯治場であり、長期滞在客が多いが、それを踏まえ、通信環境を整えてワーケーションの場として売り出すことしている。その他、カーナビや自転車、アクティビティも充実している。

角橋 西那須野観光協会は商工会のメンバーが主要会員で、観光に対する意識は決して高いとはいえない。しかし、観光の重要性は認識しており、観光資源を有効活用し、回遊性のある観光プランを作ろうと取り組んでいる。

西那須野地区は那須野が原の西に位置し、東北新幹線やJR宇都宮線、東北自動車道、国道4号などが通り、塩原温泉郷の表玄関といえる。街のあちこちに湧水があり、地区のシンボルともなっている。日本遺産の千本松牧場や明治の元勲の建物がある観光スポットだが、牧場側にある松方別荘は明治20年に建てられた洋風の別荘で、当時の総理大臣・松方正義が建てた。この他、大山別荘や那須野が原公園、オートキャンプ場などがある。オートキャンプ場などは、黒磯はスポーツとしても盛んで、平地を生かしたサッカー場やテニスコート、野球場など運動施設が充実している。また、自治体が持つ馬場は全国でこれだけしかない。観光はもちろん、教育面でも活用されている。君島会長が触れたように紅葉は市観光の目玉ともいえるが、板室の紅葉は「11月の紅葉」で趣が異なる。

また、板室温泉は国民保養温泉地で、ウイズコロナに適した温泉地だと思える。もともと湯治場であり、長期滞在客が多いが、それを踏まえ、通信環境を整えてワーケーションの場として売り出すことしている。その他、カーナビや自転車、アクティビティも充実している。

角橋 西那須野観光協会は商工会のメンバーが主要会員で、観光に対する意識は決して高いとはいえない。しかし、観光の重要性は認識しており、観光資源を有効活用し、回遊性のある観光プランを作ろうと取り組んでいる。

黒磯観光協会会長 荻原 正寿氏



西那須野観光協会会長 角橋 徹氏



四季折々の渓谷美と良質な温泉 ウイズコロナに適した板室温泉 荻原氏

日本遺産の千本松牧場など必見 観光客の多彩なニーズに対応可 西須氏

那須塩原市観光局局長 西須 紀昭氏



自然とにぎわいの創出が鍵 回遊性のある観光プランを 西須氏 角橋氏

2階建てオープンバス運行 県内初の「オンガス」を実施 君島氏 荻原氏

市のリフレッシュキャンペーンが奏功し、他の観光地よりは回復が早かったと思う。とはいえ、受け入れ人数を制限しているため、宿泊客数はマイナスで推移している。 荻原 今までは経験したことのない事態だ。コロナ対策で持ち出しも多い。人を集めてはいいけど、という本来のサードビジネスと真逆の状況下での経営をしなければならぬので大変だ。Go Toは局長も指摘したように、現場は非常に混乱し、使い勝手が良くない。支援してくれるのはありがたいが、消費者、事業者が分かれやすい制度にしてほしい。 角橋 団体客を対象としている飲食店では大きく売り上げを落としており、今も状況が変わりがないと聞いている。ビジネスホテルの中には宿泊客が9割減というところがある。 君島 合意に至るまでは紆余曲折もあったが、やはりよい方向に動いた。コロナ対策としてこのモデルが全国的模範になればいいと思う。PCR検査は万全ではないが、受けることで「感染してはいけない」という意識が高まっている。 荻原 外から人を受け入れる仕事をやっていると聞かれています。先陣を切って検査を受けていることに意味がある。コロナ禍は初めての経験。手探りで状態の中で、良いといわれ



——那須塩原は選ばれる観光地になるには、これから何をすべきでしょうか。 西須 自然とにぎわいが鍵を握っている。自然についてはまだ埋もれている素材がたくさんある。当たり前ですが、つい見落としてしまっている。見落としている素材も、それを生かしていくのが重要だ。 角橋 市や県の対策、情報をしっかりと会員に伝え、打ち出し、選ばれる観光地を目指しています。 西須 コロナ対策に果敢に挑戦してくれている。9月29日には「持続可能な観光モデル」の合意調式が行われ、塩原、板室温泉の関係者と共々署名した。 入湯税を引き上げて、PCR検査の財源にするようですね。 西須 旅館・ホテルの従業員を対象にPCR検査などのウイルス検査を行う財源として、市議会も理解してくれました。安心・安全を「見える化」するために、「きちんと検査しているので安心な温泉」などとアピールし、観光客の不安を払しょくする。従業員が陽性となった場合、見舞い金として5万円、事業所に対して協力金として20万円を市が支給する。 荻原 初めからの試みとして、10月31日から11月23日まで2階建てオープンバス運行をする。オープンバスが走るのには北関東初、いつもの景色とは違つ、眼下に手に取れそうな紅葉を見たいな。また、10月20、21の両日、ウエルネスウォーキングモデルツアーを実施した。ウォーキングを年間を通しての観光素材として磨き上げることが目的で、座学やオリエンテーションを行った。 荻原 11月7日、板室温泉を舞台に「ONSEN・カストロ・ミュージアム」を開館する。板室温泉は初めてだ。板室温泉神社、国登録有形文化財の加賀屋旅館、木の歴史文化の各所、チノスや地元産野菜を使った料理を楽しんでいた。交流会、シンポジウムも予定している。 那須塩原は選ばれる観光地になるには、これから何をすべきでしょうか。 西須 自然とにぎわいが鍵を握っている。自然についてはまだ埋もれている素材がたくさんある。当たり前ですが、つい見落としてしまっている。見落としている素材も、それを生かしていくのが重要だ。 角橋 市や県の対策、情報をしっかりと会員に伝え、打ち出し、選ばれる観光地を目指しています。 西須 コロナ対策に果敢に挑戦してくれている。9月29日には「持続可能な観光モデル」の合意調式が行われ、塩原、板室温泉の関係者と共々署名した。 入湯税を引き上げて、PCR検査の財源にするようですね。 西須 旅館・ホテルの従業員を対象にPCR検査などのウイルス検査を行う財源として、市議会も理解してくれました。安心・安全を「見える化」するために、「きちんと検査しているので安心な温泉」などとアピールし、観光客の不安を払しょくする。従業員が陽性となった場合、見舞い金として5万円、事業所に対して協力金として20万円を市が支給する。

もある。 ウイズコロナといわれる中、渡辺美知太郎市長は「持続可能な観光モデル」を打ち出し、選ばれる観光地を目指しています。 西須 コロナ対策に果敢に挑戦してくれている。9月29日には「持続可能な観光モデル」の合意調式が行われ、塩原、板室温泉の関係者と共々署名した。 入湯税を引き上げて、PCR検査の財源にするようですね。 西須 旅館・ホテルの従業員を対象にPCR検査などのウイルス検査を行う財源として、市議会も理解してくれました。安心・安全を「見える化」するために、「きちんと検査しているので安心な温泉」などとアピールし、観光客の不安を払しょくする。従業員が陽性となった場合、見舞い金として5万円、事業所に対して協力金として20万円を市が支給する。